

未来材料

Expected Materials for the Future

B5判 並製 約100頁 | C3050 | 定価: 本体 5,000円+税 | 刊行数: 年4回発行(1月、4月、7月、10月発行)

異分野との融合／学術・産業の架け橋 材料科学の最前線を拓く専門誌

新材料の用途提案、多機能性への注目、問題点の打開策など、
未来社会を創造するための知りたい情報が満載!

Vol. 1 未来を先導する日本のリーダーによる 47のメッセージ

B5判 並製 126頁 | 定価: 本体5,000円+税 | ISBN 978-4-86469-103-1 | C3050 | 発行日: 2026年1月10日

再出発の第一歩となるVol.1では、学術界ならびに産業界において第一線で活躍してこられた専門家の皆様より、材料分野・科学界の未来に向けたメッセージをご寄稿いただきました。

多方面多分野の各氏が綴る視点は、未来を担う研究者にとって刺激・ヒントとなり、日本の科学技術のたゆまぬ前進に向かう貴重な一端となるでしょう。

「異分野と融合して科学技術の未来を切り開く」を掲げる『未来材料』の新たな幕開けを、錚々たる専門家の叢智とともにお届けいたします。



編集委員長

富田 育義 (東京科学大学 物質理工学院 教授)

編集委員

秋吉 一成 (京都大学 大学院医学研究科 特任教授 | 京都大学名誉教授)

岩本 正和 (早稲田大学 招聘研究員 | 東京工業大学名誉教授 | 北海道大学名誉教授)

君塚 信夫 (九州大学 ネガティブエミッションテクノロジー研究センター 特任教授)

塩野 毅 (広島大学 大学院先進理工系科学研究科 客員教授 | 広島大学名誉教授)

高田十志和 (広島大学 客員教授 | 大阪公立大学 客員教授 | 東京工業大学名誉教授)

創設編集委員長

遠藤 剛 (東京工業大学名誉教授)

Vol. 2

解説 Review: 日本の材料分野を 牽引する研究者たち

B5判 並製 約100頁 | 定価: 本体5,000円+税 |
ISBN 978-4-86469-105-5 | C3050 | 発行日: 2026年4月10日予定

Vol. 3

Coming Soon !

B5判 並製 約100頁 | 定価: 本体5,000円+税 |
ISBN 978-4-86469-107-9 | C3050 | 発行日: 2026年7月10日予定

Vol. 4

Coming Soon !

B5判 並製 約100頁 | 定価: 本体5,000円+税 |
ISBN 978-4-86469-109-3 | C3050 | 発行日: 2026年10月10日予定

Vol.1

再創刊記念特集 B5判 126頁 | 定価 本体5,000円+税 | C3050 | ISBN 978-4-86469-103-1 | 発行日: 2026年1月10日

未来を先導する日本のリーダーによる47のメッセージ

新『未来材料』の再出版にあたり

『未来材料』創設編集委員長 遠藤 剛
遠藤剛先生を偲んで

(株)エヌ・ティー・エス代表取締役 吉田 隆

未来を先導する日本のリーダーによる47のメッセージ

●安達 千波矢 | 九州大学

OLEDが育んだ有機CT相互作用とその広がり
一電子輸送材料の発見から熱活性化遅延蛍光
(TADF)分子の創製、そして未来へ

●阿部 弘 | 北海道大学

テクノロジー・ハンター

●有賀 克彦 | 物質・材料研究機構

材料ナノ建築学(Materials Nanoarchitectonics)

●伊賀 健一 | 東京科学大学名誉教授

面発行レーザーの発明・発展・将来
一光エレクトロニクスのデバイスから見た
材料と未来

●磯貝 明 | 東京大学

セルロースナノファイバーの構造と機能を
活かす

●伊藤 耕三 | 東京大学

高分子のサーキュラーエコノミー

●上島 宏之 | 長瀬産業(株)

ものづくりの課題をマテリアルで解決する

●上野 信彦 | 三菱ケミカル(株)

日本の未来材料について

●臼杵 有光 | 元(株)豊田中央研究所

今後の研究開発に期待していること

●大竹 尚登 | 東京科学大学理事長

未来材料への期待

●片岡 一則 | 川崎市産業振興財団

未来医療を先導するドラッグデリバリー
(DDS)材料への期待

●加藤 隆史 | 信州大学・岡山大学

未来に向けての材料研究と分子技術

●鎌田 敏郎 | 大阪大学

未来材料と非破壊試験技術の交差点
一インフラ維持管理の新たな地平

●北川 進・坂本 裕俊 | 京都大学

「運・鈍・根」で常識を超える未来空間材料

●國武 豊喜 | 九州大学

私にとって未来材料とは

●栗原 和枝 | 東北大学

未来材料の再創刊に寄せて

●龔 剣萍 | 北海道大学

ソフトマター科学の展望

一やわらかい物質が描く未来材料の地平

●小林 修・北之園 拓 | 東京大学

未来の化学を拓く

一水が主役となる触媒的有機合成のパラ
ダイムシフト

●榊 裕之 | 奈良国立大学機構

建築・音楽・文字・食物など文化・文明の深化を
支える材料技術への期待

●坂田 昇 | 鹿島建設(株)

コンクリートにおける混和材料の役割と今後の
展望

●佐々木 葉 | 早稲田大学

眺めの向こうを思い描く

●澤本 光男 | 中部大学

未来材料としての高分子

●鈴木 雄二 | 東京大学

環境発電のためのエレクトレット材料

●住田 康隆 | (株)日本触媒

カーボンニュートラルに向けた取り組み

一「唯一無二の」材料開発を目指して

●関根 知子 | (株)資生堂

「普通」の一例

●高柳 大 | 味の素(株)

医療分野での発展に期待

●寶 馨 | 防災科学技術研究所

防災分野の科学技術イノベーション

●竹谷 純一 | 東京大学

自己組織化とスケーラブルな未来材料

●中條 善樹 | 京都大学名誉教授

ハイブリッド思考でEnjoy Chemistry!

一未来を化学の力で元気に!

●土肥 義治 | 東京科学大学名誉教授

カーボンニュートラルな高分子材料

●堂免 一成 | 信州大学

水を水素と酸素に分解する光触媒の開発

●西 敏夫 | 東京大学名誉教授／

東京科学大学名誉教授

これからどうする？

一主にナノ構造ポリマー材料に関して

●西野 孝 | 神戸大学

高分子を用いた接着と界面構造

●野地 博行 | 東京大学

未来材料を拓く

一無限の空間から機能を見つけ出す

●馬場 嘉信 | QST量子生命科学研究所

生命の謎を解く未来材料

一Future Materials for Unraveling the
Secrets of Life

●浜地 格 | 京都大学

未来へのメッセージ

一分子夾雑の生命化学から展望する未来材料

●半田 宏 | 東京医科大学

サイエンスは個性&プライド

一機能性ナノ磁性ビーズの開発から創業開発へ

●藤田 照典 | 中部大学

企業の研究開発／優れた研究者

●船津 公人 | 奈良先端科学技術大学院大学

データ駆動化学の展望

●細野 秀雄 | 東京科学大学

材料研究の魅力

●丸屋 剛 | 大成建設(株)

未来の社会インフラを支えるコンクリートと
その構成材料

●丸山 茂夫 | 浙江大学

単層CNTをもとにした一次元ヘテロ構造

●矢木 修身 | 東京大学名誉教授

ナノ材料によるバイオ浄化機能の向上化

●八島 栄次 | 国立清華大学

らせん高分子の未来

●山本 佳世子 | 東京科学大学

女子枠と理工系イノベーション人材

●湯浅 新治 | 産業技術総合研究所

スピントロニクスの社会実装

●吉野 勝美 | 大阪大学名誉教授

未来材料と未来技術

材料の未来に熱い想いをのせて

『未来材料』編集委員長 富田 育義

Vol.2

B5判 約100頁 | 定価 本体5,000円+税 | C3050 | ISBN 978-4-86469-105-5 | 発行日: 2026年4月10日予定

解説 Review : 日本の材料分野を牽引する研究者たち

巻頭言

相澤 益男
(科学技術国際交流センター会長)

解説 Review

OLEDが切り拓いた先進有機発光分子の進展
安達 千波矢(九州大学)

液体界面の役割とは何か？そして未来への
挑戦とは？

有賀 克彦(物質・材料研究機構)

ロタキサン構造を用いた高分子材料の創製と
その応用

伊藤 耕三(東京大学)

水圏機能材料の科学とその展開

加藤 隆史(信州大学／岡山大学)・他

単結晶有機半導体とスケーラブルな量子
エレクトロニクス

竹谷 純一(東京大学)

水素をつくる光触媒材料の進化と人工光合成

影島 洋介・堂免 一成(信州大学)

生体分子夾雑の化学

浜地 格(京都大学)

エレクライドの物質科学と応用

細野 秀雄(東京科学大学)

○現代ものづくり考

宇宙からの温室効果ガス・水循環観測の
重要性について

小島 寧(宇宙航空研究開発機構)

○BestShot写真でひもとく未来材料

文化財クリーニングへの科学研究の適用事例

早川 典子(東京文化財研究所)

○リサーチ・ナビ

【宇宙戦略基金事業 SX研究開発拠点】

月面開発のための宇宙資源開発

宮本 英昭(東京大学)

○Wants-Needs-Seeds

超高容量かつ低コストの鉄系全固体フッ化物
イオン二次電池正極材料の開発

山本 健太郎(奈良女子大学)

○チャレンジロード

単分散粒子の創製をめざして

櫻井 和朗(北九州市立大学)

○未来への道しるべ

光材料技術への期待

関 隆広(名古屋大学名誉教授)

○研究余録(連載)

研究者 拓く荒野に 苦楽の碑(第1回)

新海 征治(九州大学名誉教授)

○融合する科学の未来を見る科学者たち(連載)

物理学と生物学が融合した未来の農業：

プラズマ種子科学

河野 智謙(北九州市立大学)

※2025年11月時点の情報です。予告なく変更になる場合があります。